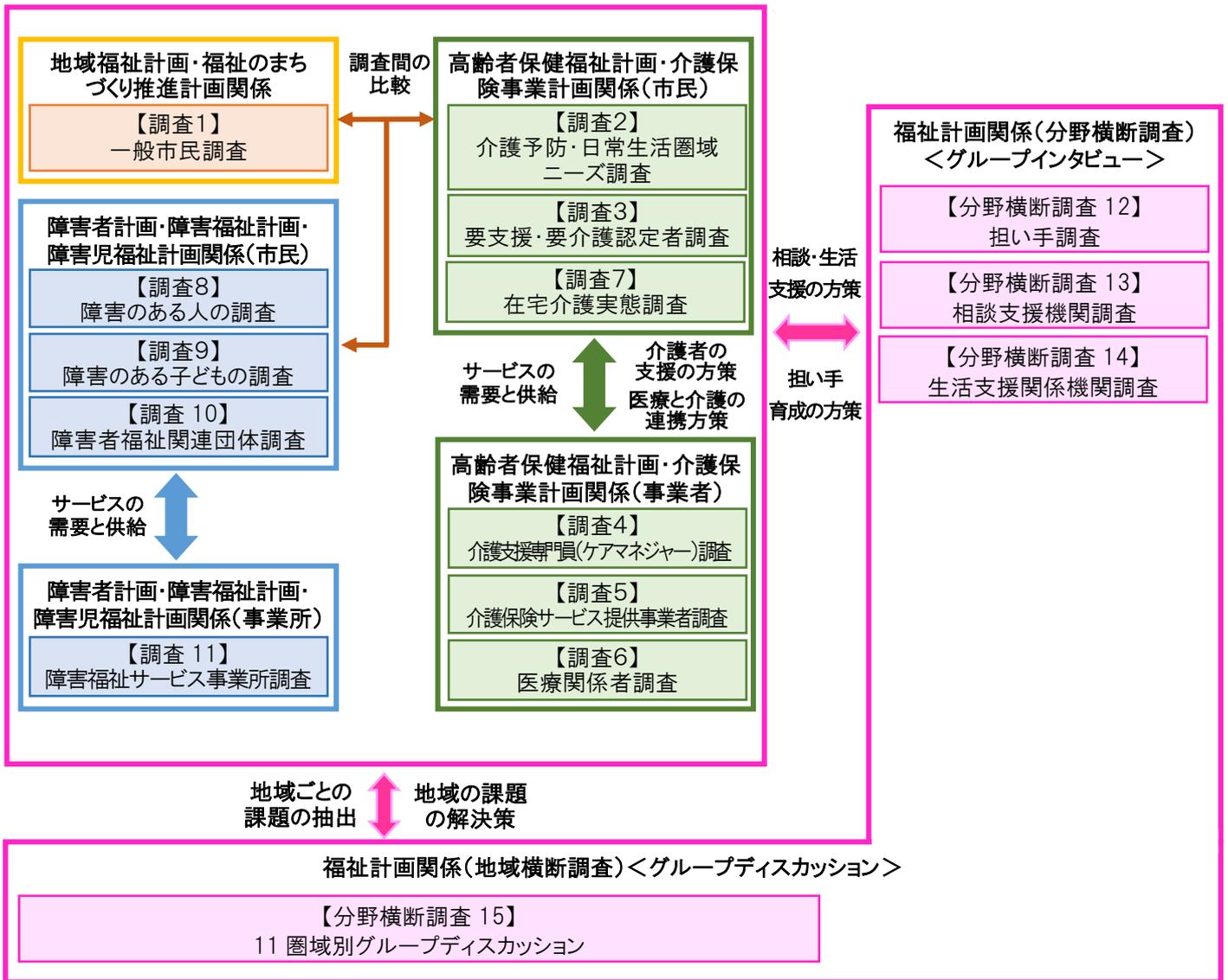


府中市福祉計画策定のための調査一覧

地域福祉分野で1調査、高齢・介護分野で6調査、障害分野で4調査、分野横断的調査として4調査を追加し、全15調査を実施します。

<各調査の関係図>



分野	区分	調査名	対象者	サンプリング	調査方法	調査項目
地域福祉・福まち	調査1	一般市民調査	市内在住の18歳以上の市民 3,000人	令和元年9月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出	郵送	基本属性、近所づきあい、地域における支え合い、地域活動やボランティア活動、日ごろの悩みと相談、福祉のまちづくり、災害時の支え合い、福祉に対する考え方、福祉施策
高齢者	調査2	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	市内在住の65歳以上の市民 3600人程度 ・65歳以上の市民で認定を受けていない者(2,600人程度) ・65歳以上の市民で要支援1・2の認定者(1,000人程度)	令和元年9月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出	郵送	基本属性、就労意欲、生活状況、からだを動かすこと、食べること、毎日の生活、地域生活と日ごろの活動、認知症、たすけあい、健康づくりや介護予防、災害時の対応、情報収集、高齢者保健福祉サービス、在宅療養、権利擁護、自由意見
	調査3	要支援・要介護認定者調査	市内在住の65歳以上の要支援・要介護認定者 2,500人 ・居宅サービス利用者 1,500人 ・施設サービス利用者 500人 ・サービス未利用者 500人	介護保険居宅サービス・施設サービスを受けている方、要支援・要介護認定者のうちサービス未利用の方から無作為抽出	郵送	基本属性、住まい、医療、介護保険、利用者本位のサービスのあり方、権利擁護、高齢者保健福祉サービス、認知症、地域生活と日ごろの活動、災害時の対応、在宅療養、自由意見、主な介護者の状況や意向
	調査4	介護保険サービス提供事業者調査	市内で介護予防・居宅介護サービス、施設サービスを提供している全事業所	全事業所	郵送	基本属性、事業運営、サービス提供における課題、サービスの質の向上と人材確保に向けた取組、認知症患者のサービス利用、医療と介護の連携状況、共生型サービス、災害時の体制、地域との関わり、事故やトラブルの対応策、自由意見
	調査5	介護支援専門員(ケアマネジャー)調査	市内の居宅介護支援事業所に在籍する全ての介護支援専門員	全員	郵送	基本属性、業務の担当状況、ケアプランの作成状況、担当地域におけるサービスの状況、サービス提供事業者等との関わり、サービス担当者会議、地域包括支援センターの役割、サービス利用者の在宅医療の状況、認知症患者のサービス利用、医療と介護の連携の状況、業務全般、自由意見(市への意向)
	調査6	医療関係者調査	市内の医療関係機関に所属する医療従事者(病院、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション)	対象者から抽出	郵送	基本属性、医療と介護の連携の状況、医師の取組状況、歯科医師の取組状況、薬剤師の取組状況、訪問看護師の取組状況、退院支援担当者の取組状況、地域包括ケアシステムに向けた医療介護連携
	調査7	在宅介護実態調査 ※先行して実施	在宅で生活している要支援・要介護者のうち「要支援・要介護認定の更新申請・区分変更申請」をしている人であり、令和元年6月1日から令和元年11月30日までの間に認定調査の対象となる人	全員 (回収目標700人)	認定調査員による聞き取り調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>■A票(認定調査員が概況調査等と並行して記載する)基本属性、介護の状況、介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況、ご本人の状況等</li> <li>■B票(主な介護者もしくはご本人が回答・記入する)主な介護者の働き方、主な介護者が不安に感じる介護等</li> </ul>
	障害者	調査8	障害のある人の調査	市内の18歳以上の障害者手帳所持者、自立支援医療受給者証所持者、特定医療費受給者証所持者 2,300人	対象者から無作為抽出	郵送
調査9		障害のある子どもの調査	市内の18歳未満の障害者手帳所持者、特定医療費受給者証所持者、障害児通所給付費受給者証所持者の保護者 1,000人	対象者から無作為抽出	郵送	基本属性、通園・通学、介助の状況、福祉サービスの利用、育ちや発達の状況、医療、防災、地域・共生社会、施策、保護者の状況
調査10		障害者福祉関連団体調査	市内の障害者福祉団体 11団体	11団体	郵送	活動状況、相談支援体制、災害時の支援、制度の谷間の問題、地域共生社会づくりに向けた協力意向、障害者福祉施策
調査11		障害福祉サービス事業所調査	市内の障害者福祉サービス事業所 169事業所程度	市内の事業所から事業ごとに無作為抽出	郵送	活動状況、サービス提供体制、今後の事業運営、利用者本位のしくみ、地域共生社会づくりに向けた協力意向、力を入れている点、市への要望
分野横断	調査12	担い手調査	エリアに縛られない活動をしている地域福祉の担い手(ボランティア団体、NPO法人、認知症サポーター、地域貢献活動を行っている社会福祉法人・企業等) 1グループ5～6人を2グループ	市で抽出	グループインタビュー	活動状況、活動をする上での課題、府中市の課題、府中市との協働の方向性
	調査13	相談支援機関調査	地域福祉推進課、生活支援課(相談担当、自立生活支援担当)、地域包括支援センター、地域生活支援センター、子ども家庭支援センター、社会福祉協議会等 1グループ5～6人を2グループ	市で抽出	グループインタビュー	相談の現状、相談の課題、多分野で連携を進めていく上での現状と課題、多機関連携の方向性
	調査14	生活支援関係機関調査	普段の事業活動から地域の課題を把握している府中市内の生活関連の事業者・企業(スーパー、コンビニエンスストア、配食サービス、タクシー会社、郵便局、銀行等) 1グループ5～6人を2グループ	市で抽出	グループインタビュー	事業所概要、地域貢献活動の内容、事業活動をする上で感じる課題、府中市との協働の方向性
	調査15	11圏域別グループディスカッション	地域で活動している担い手の方 民生委員・児童委員、町内会・自治会等、シニアクラブ、ふれあいいきいきサロン運営者、コミュニティ協議会、わがまち支え合い協議会、小学校・中学校職員、地域福祉コーディネーター等	市で抽出	グループディスカッション	<p>&lt;テーマ&gt; あなたが住んでいる地域のこれからの考えませんか? &lt;話し合いの内容&gt; ①『地域の課題(困っていること・課題を抱える人・世帯)』 ②『地域の課題を解決するためにできること』</p>